

2019年10月15日

各位

株式会社アクロディア
 代表取締役社長 堤 純也
 (コード番号：3823 東証第二部)
 問合せ先：取締役副社長兼管理部長 篠原 洋
 電話番号：(03)4405-5460

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2018年10月15日に公表した業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異について

2019年8月期連結業績予想と実績値との差異 (2018年9月1日～2019年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,861	22	54	34	1.57
実績値 (B)	1,554	△103	△71	△278	△11.75
増減額 (B-A)	△307	△125	△125	△312	
増減率 (%)	△16.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	1,302	51	24	6	0.30

2019年8月期個別業績予想と実績値との差異 (2018年9月1日～2019年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,196	11	35	61	2.82
実績値 (B)	983	△96	△106	△289	△12.23
増減額 (B-A)	△213	△107	△141	△350	
増減率 (%)	△17.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2018年8月期)	1,113	56	66	67	3.08

2. 業績予想との差異の理由

個別業績においては、本日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」の「1. 連結子会社株式の減損処理（個別決算）」に記載の通り、関係会社株式評価損として214百万円を特別損失に計上したほか、スポーツIoT事業での販売拡大の遅れやインターホンIoT事業における開発の遅れなどがあつたことやソーシャルゲームの売上が計画を下回つたこと等により、見込んでいた売上と利益を下回る結果となりました。

連結業績においては、本日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」の「2. のれん・商標権の減損処理（連結決算）」及び「3. 連結子会社の固定資産の減損処理（連結決算）」に記載のほか当第2四半期会計期間にソフトウェアの減損処理をしたことにともない、のれん償却額99百万円及び減損損失133百万円の合計233百万円を特別損失として計上したほか、飲食関連事業において収益拡大のための店舗の取得に遅れが生じていること等により、見込んでいた売上と利益を下回る結果となりました。

当社グループは前連結会計年度である2018年8月期を第三創業期の始期として、これまで様々な改革による大幅なコスト削減に取り組むと同時にAI・IoT・クラウドを中核技術とする企業グループとして積極的に新事業の開拓を行い既存事業とのシナジー効果の追求を行なつてまいりました。当期において固定資産の減損処理をしたことにより、来期以降に関しましては、固定資産の償却負担が軽減され、業績の向上に寄与する見通しであります。

以 上